



にじのはし幼稚園 園だより



令和4年1月号
港区立にじのはし幼稚園
園長 石川典子

3学期が始まり子どもたちの元気な声が戻ってきました。各御家庭で、楽しい年末年始をお過ごしになったことと思います。

今年は『寅年』。十二支の3番目です。中国伝来の十二支は、もともと植物が循環する様子を表しているようで、子年に新しい命が種の中で芽生え始め、丑年には種の中で育つがまだ伸びることができない。寅年は春が来て根や茎が生じて成長する時期、草木が伸び始める状態だとされています。

1年の集大成の3学期。教育日数は、年長組が46日、年中・年少組が50日です。寅年のいわれのように、幼児が進学・進級前にさらに大きく成長し、自信がもてるよう、遊びや行事を通して、一人ひとりを育む教育を行います。

3学期の指導のポイントは「見る・聴く力の育成」です。この2つの力により、様々なことを理解したり、他者の気持ちが分かったり、主体的に行動したりすることができます。社会生活に必要な力です。

では、どうしたらこの力は身につくのでしょうか。「よく見なさい」「話を聴きなさい」と言葉で指示をし、させようとしても育ちません。様々なことやものや人に興味や関心を持ち、「友達、先生に自分の話を聴いてもらってうれしい」「見たり聴いたりすることが楽しい」など、園生活の中で直接体験を積み重ねていくことが必要です。

「聴く力」は、聴いたことを頭の中でイメージして理解する力です。幼少期は自分の体験を中心に理解しますが、小学校以降では知らないことでもイメージをわかせて理解していくことが求められます。

ご家庭では、絵本との触れ合いを大切にし、読み聞かせや親子の会話を楽しんでください。知らない世界にも話を聴いてイメージをわかせていく体験となります。また、子どもの話を楽しんで聞く保護者の存在は、子どもが聴いてもらえたことに喜びを感じ、「また話したい」「誰かに伝えたい」という意欲につながります。

子どもが育つには、周囲の大人の日々の丁寧な関わりが必要です。子どもの思いに寄り添い共感しながら、親子で、幼稚園で、子どもが楽しく生活できるようにしていきます。

今学期も、ご理解・ご協力をお願いいたします。

